PRESS RELEASE

メディア関係者各位

2026/11/9

株式会社ジャパンチケットホールディングス

台湾大手銀行のVIP顧客約100名に、日本各地の上質な体験を紹介

ジャパンチケット、JCB・獺祭と台湾富裕層向け特別イベントを共催、日本での特別体験の価値発信

株式会社Japanticket（本社 東京都渋谷区、代表 田中宏彰、以下、「JapanTicket」）は、2026年11月5日（木）に台湾の台北、11月6日（金）に台中にて、日本発唯一の国際カードブランド運営会社である株式会社ジェーシービーの海外業務を行う子会社である株式会社ジェーシービー・インターナショナル、および現地子会社、JCB International (Taiwan) Co., Ltd.（以下、3社を総称して「JCB」）、株式会社獺祭（本社 山口県岩国市、代表　桜井一宏、以下「獺祭」）との共催により、台湾の富裕層を対象とした招待制のイベント「2026獺祭 臻藏品飲會」を開催しました。

本イベントには、台湾大手銀行の協力のもと、同行のVIP顧客計約100名が参加しました。



獺祭 代表取締役社長 桜井一宏氏自らが獺祭の魅力を語ったほか、JapanTicketは富裕層向け訪日体験ブランド「JapanTicket PRESTIGE」として、山口の獺祭の蔵元の非公開エリアの見学などができるツアーをはじめ、日本各地の魅力と、その土地でしか味わえない特別な体験を紹介しました。



■ 開催の背景

台湾からの訪日客数は2025年に約676万人と過去最高を記録し、韓国・中国に次ぐ第3位の市場です。2026年7月には単月で初めて70万人を超えるなど、勢いは続いています（日本政府観光局）。観光目的の台湾人旅行者の約9割は訪日経験のあるリピーターで（観光庁、2024年）、訪日回数を重ねた層ほど地方への関心や旅行消費が高い傾向にあります。こうした旅慣れた層、とりわけ富裕層の関心は、定番の観光から、その土地の文化やつくり手に直接触れる「特別な体験」へと移りつつあります。

JapanTicketが提供する山口・広島のツアーでも、台湾からのお客さまが多くを占めています。

本イベントは、JCB、世界で愛される日本酒「獺祭」、そして富裕層向け訪日体験を手がけるJapanTicketがそれぞれの強みを持ち寄り、台湾の富裕層に特別な体験を通して日本の価値を届け、実際の訪日へとつなげることを目的に企画されました。

■ イベント内容

台北はKA SKY COFFEE、台中はInterContinental Taichungの会場にて実施しました。以下、主なプログラムです。

1. JCBによるサービス紹介

JCBから、台湾国内および日本におけるJCBの多様なブランドサービスに加え、訪日旅行をより便利に楽しむためのアプリ「MyJapan+ by JCB」を紹介しました。

2. JapanTicket PRESTIGEによる「日本各地の特別な体験」のご紹介

JapanTicketは中国語によるプレゼンテーションで、日本各地の魅力と、JapanTicket PRESTIGEが提供するその土地ならではの「特別な体験」やツアーを紹介しました。

▼ JapanTicket PRESTIGE の山口・広島ツアー「スターシェフと蔵元が奏でる饗宴 酒蔵ガストロノミーツアー」詳細

https://prestige.japanticket.com/yamaguchi_hiroshima/



LaCime高田シェフとのペアリング体験

©Japanticket Holdings Inc.

3. 獺祭 桜井社長によるストーリープレゼンテーション

桜井社長自らが、獺祭の酒造りへの想いと世界への挑戦を語りました。

4. 獺祭の試飲会と販売

4種の獺祭の飲み比べに続き、自由試飲会の時間には会場のバーで獺祭を購入いただける場を設けました。台北会場では、日本人シェフが、4種の獺祭に適う『おつまみ』を考案して提供しました。



■ 今後の展開

3社は本イベントを契機に連携を深め、今後の新たな取り組みの可能性を検討していきます。

JapanTicketは今後も、日本を代表するブランドや企業との連携を通じて世界の富裕層に日本の特別な体験を届け、地域への送客と質の高いインバウンド観光の拡大に貢献してまいります。

■ コメント

株式会社Japanticket 執行役員（JapanTicket PRESTIGE事業部長） 宮崎 有生

台湾のお客さまの多くは、何度も日本を訪れている旅の上級者です。次の旅に求めているのは、「どこへ行くか」以上に、「その土地で誰に会い、何に触れるか」だと感じています。

今回、JCB様、獺祭様という日本を代表するブランドとご一緒に、日本の本物の価値を現地で直接お届けできたことを光栄に思います。当社はこれまでも、信頼するパートナーの皆さまとの連携を通じて、国内外の富裕層のお客さまとのつながりを大切に築いてまいりました。今回、現地でお客さまと直接向き合い、新たなご縁が生まれたことは、当社ならではの日本へのご案内をさらに広げる大きな一歩です。

会場でご紹介した山口・広島をはじめ、日本各地を実際に訪れていただくきっかけとなるよう、今後も体験の質を磨いてまいります。

©Japanticket Holdings Inc.

■ 開催概要

項目	内容
名称	2026獺祭 臻藏品飲會
日程・会場	2026年11月5日（木）台北市 KA SKY COFFEE 11月6日（金）台中市 InterContinental Taichung
共催	JCB、獺祭、JapanTicket
協力	台湾大手銀行
参加者	協力銀行のVIP顧客 計約100名（招待制）
内容	JCB・JapanTicket・獺祭 桜井社長によるプレゼンテーション、獺祭の試飲会・販売

※株式会社Japanticketは、株式会社ジャパンチケットホールディングスのグループ企業です。

■ JapanTicket PRESTIGEについて

「JapanTicket PRESTIGE」は、株式会社Japanticketが展開する訪日富裕層向けの旅行ブランドです。
「UNCOVER JAPAN」をコンセプトに、美食や郷土料理を軸として、日本各地の文化・自然・建築・アートに触れるオーダーメイドの旅を企画・提供しています。通常は非公開の酒蔵や美術館の貸切、ビジネスジェットやヘリコプター、ヨットを組み合わせた効率的かつプライベートな移動、専任コンシェルジュによるサポートを特長とし、富山、山口・広島、北海道、沖縄などで旅程を展開しています。日本政府観光局（JNTO）の訪日富裕層向けサイトでも紹介されています。
URL：https://prestige.japanticket.com/

■ 獺祭について

わたしたちは「酔うため、売るための酒ではなく、味わう酒を求めて」をモットーに、真に美味しい酒を追求。現在は山田錦のみを使用した精白45%以下の純米大吟醸「獺祭」のみを造る。1992年に発売の「獺祭 純米大吟醸 磨き二割三分」でその地位を確立。近年は海外需要が大きく伸び、現在40カ国以上に輸出。日本一の人数となる200人の蔵人が、日々酒造りの進化に挑戦し続けている。
2023年春にはニューヨークに酒蔵が完成。日本と同様に山田錦のみ、純米大吟醸のみでアメリカで酒造りを開始する。造る酒は、DASSAI BLUE。

URL：https://dassai.com/

■ JCB International (Taiwan) Co.,Ltd.について

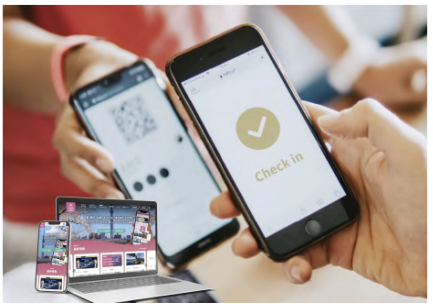
JCB International (Taiwan) Co.,Ltd.は、日本発唯一の国際カードブランド運営会社であるJCBの台湾拠点として、現地金融機関との提携によるJCBカードの発行や加盟店網の拡大、会員向けの日本旅行関連サービスの提供などを行っています。JCBは1961年に日本でカード事業を開始し、世界の加盟店約7,200万店、会員数1億8,192万会員のネットワークを

©Japanticket Holdings Inc.

持ちます。

■ 会社概要

【株式会社Japanticket】



観光体験や各種サービスをデジタルチケット化し、オンラインで販売・管理できる仕組みを提供することで、訪日観光客の集客と現場運営の効率化を支援しています。世界中の主要OTA（オンライン旅行代理店）と連携し、日本各地の魅力をグローバルに発信するとともに、高付加価値な体験コンテンツの企画・開発も行っています。また、シンガポール拠点「Japanticket Asia Pacific Pte. Ltd.」を中心に展開する富裕層向けプレミアムツアー「JapanTicket PRESTIGE」では、札幌市をはじめ自治体や ホテル・旅館、航空・交通事業者、観光施設など多様なパートナーと協働し、「UNCOVER JAPAN」をコンセプトに特別な体験価値の創出を進めています。
公式HP：https://www.japanticket.com/
JapanTicket PRESTIGE :https://prestige.japanticket.com/

【株式会社ジャパンチケットホールディングス】



株式会社Japanticketは、株式会社ジャパンチケットホールディングスグループ傘下のトラベルテック企業です。

株式会社ジャパンチケットホールディングスは、飲食・観光・体験分野の事業者をテクノロジーで支える企業グループです。飲食店向け予約管理システム「ebica」と、インバウンド向け集客・eチケット事業を展開する
「ジャパチケプラス」を中核に、販売から運営、データ活用までを一体で支援しています。地域資源や文化体験を活かした高付加価値な体験づくりにも取り組み、「人とテクノロジーで事業者のおもてなしを支え、“粋な体験”を世界に拡げる」というミッションのもと、日本各地の価値を持続的な利益へつなげる環境づくりを進めています。
所在地：東京都渋谷区恵比寿1-20-18 三富ビル新館8F
代表者：田中宏彰
事業内容：
・飲食店向け予約管理システム「ebica」の運営
・インバウンド集客支援サービス「ジャパチケプラス」の運営
・インバウンド富裕層向け体験・ツアー企画支援（JapanTicket PRESTIGE事業）
・飲食・観光・体験事業者向けDX支援
公式HP：https://japanticket-holdings.co.jp/

本プレスリリースの問い合わせ先：
株式会社ジャパンチケットホールディングス　広報PR　小園（こぞの）
Mobile : 070-3295-2499　Mail : ayako.kozono@japanticket-holdings.co.jp

©Japanticket Holdings Inc.